

令和6年度（2024年度）長野県中学校新人体育大会
東北信ブロック ソフトボール競技 大会要項

ソフトボール競技は、東信地区の1チームを含め、「東北信大会」として開催する。

参加料の徴収について

本大会では、長野県中体連の取り決めにより、全競技において参加料を徴収します。徴収額は、1人200円。参加チームの所属者(登録選手以外も含める)は全員徴収となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

☆参加(出場)チーム：計4チーム（順不同：クラブ4チーム）

- ①NEVIES ②川中島ソフトボールクラブ（以下、川中島SC）
③若穂ソフトボールクラブ（以下、若穂SC） ④長野Blooms

- I. 主催 北信地区中学校体育連盟
II. 共催 北信地区各市町村教育委員会
III. 主管 北信地区中学校体育連盟 ソフトボール専門部
長野県ソフトボール協会北信支部
IV. 会期 令和6年9月21日(土) 予備日：9月22日(日)9月23日(月)
*試合前は監督会議のみ・開会式なし → 9:00第1試合開始
*雨天時は、1日ずつ順延になる場合もある。
*表彰式は行う。最終試合終了後に全チームを表彰する。場所はAコートとするが適宜変更あり。
V. 会場・役員（大会が9/21に終了した場合は、9/22以降の実務はなし）

会場	長野市 若穂中央公園運動場（2面：A/B）〈予備日：同会場〉		
期日	9月21日(土)	9月22日(日)	予備日(9/23)
本部長	山中 美佳 (戸隠中学校長)	片山 ますみ (若穂中学校長)	左記担当者がスライドして行う
救護員	競技部対応	宮崎 音羽(柔道整復師会)	競技部対応
競技委員長	黒田 芳人(篠ノ井西)		
競技委員	参加チームの登録スタッフ(ベンチ入りできるスタッフ) *出来る限り、競技部で対応する。		
審判長・審判員	長野県ソフトボール協会 北信支部 審判長 及 審判員		
記録長・記録員	長野県ソフトボール協会 北信支部 記録長 及 記録員		
記録報告	黒田 芳人(篠ノ井西)		
生徒役員	参加校ソフトボール部員		

*2日目救護員の紹介

宮崎 音羽 先生 (公社)長野県柔道整復師会 北信支部会員
〈中野市 よしだ鍼灸整骨院〉

VI. 日程・組み合わせ

1 日程

開場	6:30	(開場前にはグラウンドに入らない)
監督会議	7:45	
競技開始	* 1	80分間の時間制。
	* 2	得点差コールドはオフィシャルルールを適用する
	* 3	試合開始時間の前倒しは、原則として行わない。コート移動の関係で、第2試合は試合開始が遅れる場合はあり得る。第3試合は定刻に開始する。

第1試合	9:00~10:20	(試合間40分：ベンチ入り25分後にオーダー提出)
第2試合	11:00~12:20	(試合間70分：13:15にオーダー提出)
第3試合	13:30~14:50	

大会終了予定 15:30

《補足》

- * 1 試合は2コートで進行する。各コート同時進行で進める。
Aコート：若穂中央公園テニスコート側
Bコート： 同 若穂中学校側
- * 2 試合は、全試合7イニングまたは80分とし、タイブレークは行わない。80分経過時に最終バッター宣告制で進める。(要確認)
- * 3 第2試合以降の試合は、全チームが連続で試合を行い、コート移動のチームがあるので、試合間隔を考慮する。該当チームが該当のベンチ入りしてから決められた時間のインターバルを設ける。詳細は次のようにする。
 - ①第1・2試合の間隔：40分間。ベンチ入り25分後にオーダー提出。
 - ②第2・3試合の間隔：70分間。昼食を含む。13:15にオーダー提出。
- * 4 試合前のフィールドイニングは、全試合で行うことができる。行う・行わないはチームの判断とする。チームから審判員に伝える。
- * 5 用具点検は、各コートでの最初の試合開始前に行う。同じコートで試合をする場合は省略する。
- * 6 今大会の、使用球は競技部で準備する。ナイガイ3号球。各チームからの集金は行わない。
- * 7 外野ネットは設置しない。ホームランラインで対応する。本塁とホームランラインまでの距離は61mとする。
- * 8 給水タイム(ケリグブレイク)は次のように設定する。原則として必ず行う。
 - 1回目：2回表終了時
 - 2回目：4回ウラ終了時 <通常は3回表、5回ウラ終了時が常だが、今大会では記述の設定とする。>
 - * 1 時間は2分間とし、試合時間には含まない。終了30秒前に指示する。時間計測は当日確認。
 - * 2 給水タイムは作戦等のタイムとは異なるため、ベンチ内は選手のみとする。スタッフ(大人)は、各ベンチに近いコファースポットにいる。観衆との会話は行わない。応援席に行くことも

なしとする。選手の体調面に気をつけ、懸念される場合は適宜対応する。

*3 この時間内は、ベンチ内で応援等の声出しは行わない。

*4 下記の「*9」に関わって、イニング内に給水タイムをとった場合は、この給水タイムは行わない。

*9 同一チームが長時間の守備になった場合は、打者一巡した場合に2分間の給水タイムを設ける。両チームともにベンチ内で休憩・給水とする

*10 各チームは会場に到着しだい、バック入りをしてよい。試合前のアップは該当試合コートの外野側で行ってもよい。

*11 オーダー表は、既定の時間に提出する。

*12 各チームの登録スタッフは、会場到着後、本部席に来場報告を伝え必要な書類と参加料を提出する。

*13 参加料は、封筒に入れて提出する。参加料請求書・領収書を各チームで準備する。長野県中体連HPまたは北信中体連HP参照。

*14 大会本部はAコートバックネット裏とし、監督会議はAコートバックネット前で行う。

*15 グラウンド整美は、フィールドイングの後と試合終了後に、必ず、確実に行う。各チームの選手ができるだけ短時間で行う。

*16 すべてのチームは、自チームの全試合終了後に会場内で練習をすることはなしとする。試合終了後は早めに帰ってもよい。

*17 会場準備・片付けについて

①各コートのバースの設置は、審判団を中心として行い、選手は手伝う。

②ライン引きは審判団が行う。

③最終試合のチームは会場片付けを行う。

*18 生徒役員については、全チームが試合参加のため、次のように行う。

1)試合中のボール回収は各ベンチの選手が行い、バックネット裏の審判員に届ける。

2)得点記入・審判員へのボール配給は、審判員の協力で行う。該当試合の選手は、自チームに影響のない範囲で協力する。

3)グラウンド整美について

①速やかに、選手が必ず行う。

②試合終了後は、コートを移動しないチームの選手が行う

③フィールドイング終了後は、両チームで行う。

2 組み合わせ 出場は4チームのため、次のように進める。

☆4チーム総当たりリーグ戦を行い、順位を決定する。(1チーム3試合、総計6試合)

《コート割》 *中央P：若穂中央公園運動場

【Aコート:中央P テニスコート側】 【Bコート:中央P 若穂中側】

《試合川順 (組み合わせ) 》

	①9:00	②11:00	③13:30
Aコート	長野Blooms—川中島SC	川中島SC—NEVIES	NEVIES—長野Blooms
Bコート	NEVIES—若穂SC	若穂SC—長野Blooms	川中島SC—若穂SC

《リーグ戦表》

	NEVIES	若穂SC	川中島SC	長野Blooms	勝ち点	①総失点 ②得失点差 ③失点	順位
NEVIES							
若穂SC							
川中島SC							
長野Blooms							

【順位決定について】

*1 順位決定については、次のようにする。

- ①勝ち点制を採用。勝ち点の多いチームが上位となる
(勝利：勝ち点2 引き分け：勝ち点1 敗退：勝ち点0)
- ②勝ち点と同じ場合は当該チーム同士の試合で勝った方を優位とする。
- ③②で決定できない時(対戦が引き分けだった場合)は、次の優位性で判断する。
 - ア)総失点の小さい方が優位。
 - イ)得失点差の大きい方が優位。
 - ウ)失点の少ない方が優位。

【確認】

- *1 対戦表の左側のチームを1塁側ベンチとする。
- *2 都合によるベンチの変更はなし。毎試合、必ずベンチ移動をする。

Ⅶ. 競技規則及び申し合わせ事項

☆オファシャルルールに準じて試合を行うが、必要に応じてローカルルール（本大会での中体連ルール）を適用することもある。

<参加規定>

- (1) 中学校の部活動のチームの選手は、当該校の在籍生徒とする。合同チーム等については、条件を満たしている場合において規定の手続きを経た上で出場を認める。
- (2) クラブチームは、条件を満たした上で参加を認める。
- (3) 1チームの編成は、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名以内の計21名以内とする。
- (4) 監督・コーチの何れかは、引率責任者を兼ねてもよい。
- (5) チーム登録は次の点に留意する。

- ① 中学校チームの参加校の引率者・監督は当該校の校長・教員・部活動指導員※1とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書」の監督者及び引率者の欄に必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。
※1 ここでいう「部活動指導員」は学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。以下同じ。
- ② クラブチームは、申し込み時に所定の用紙を使用してチーム登録を行う。
- ③ 本連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動・クラブ活動の指導中における暴力・体罰・セハラ等により、任命権者・学校設置者・クラブチーム責任者から懲戒処分を受けていない者であること。なお、中学校チームの外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。（左記については別に定める対応に準拠する）
- ④ スタッフがベンチ入りする場合は、当該チームの部員・クラブ員(中学生)であり、登録メンバーの一員であること。
- ⑤ 中学校チームのコーチは、学校長の認めた者であれば外部コーチも認める。その際には所定の用紙を使用し、届け出をする。なお、外部コーチについては上記②に適する者とする。更に下記の条件をみたしている必要がある。
 - i) 当該チームの監督の補佐として指導を中心とし大会運営には関与しない。
 - ii) 学校教育の一環として行われる大会の趣旨を十分に理解し、教育的な言動や行動をとる。
 - iii) 大会運営上問題が生じた場合や条件を逸脱する言動があった場合は、大会本部の指示に従う。

<競技規定>

- (1) 2024年度オファシャル・ソフトボールルールに準じる。
- (2) 使用球はJm検定3号、使用バットは検定3号バットとする。
- (3) 監督及びコーチは、選手と同じユニフォームを着用する。引率責任者は平服でもよいが、服装に気をつける。男性は長ズボンを着用する。女性は長ズボン又はキュロット等を着用する。長ズボンはジャージも可とする。
- (4) ユニフォームにはユニフォームNo.をつける。監督は30番、コーチは31番又は32番、選手は1番～99番とし、主将は10番とする。なお、チーム事情により、選手・監督及びコーチのユニフォームがそろわない場合は、ユニフォームNo.を正しく着用すれば大会への出場及びベンチ入りを認める。帽子についても統一されてなくてもよい。

- (5) 試合は次のように進める。
①7イニングまたは80分とし、タイムレーカーは行わない。
②コールドゲームはオフィシャルルールを適用する。
- (6) 規則適用上の疑義の申し出は、監督とする。ただし、審判の正確性に関する抗議はできない。
- (7) 打順表(オーダー用紙)はオフィシャルの打順表を使用する。バツ入り登録選手の全員の記入等、必要事項を全て記入する。*監督・コーチにもふりがなを書く。

<大会規約>

- (1) 雨の場合には順延する。
- (2) バツ入りは、最多で計21名とする。引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名以内の計21名(スアラーを含む)とする。スアラーも選手と同じユニフォームを着用する。
- (3) ベンチの使い分けは、別記あり。
- (4) 日没又は降雨によるコールドゲームは5回以後成立するものとする。
- (5) 一時停止試合(ケスパシテットゲーム)を採用する。試合再開時に審判員が変わることはあり得る。
- (6) 試合前のフィールディングは、登録メンバー(18名以内)で行う。
- (7) 攻守交替は、投手を含む全員がスピーディーに行う。
- (8) ランナーコーチは登録選手が行うものとする。
- (9) ベンチや応援席からの審判や相手チームに対する聞き苦しい暴言等は厳重に慎む。試合に影響のある応援や指示と判断される場合は、競技部が指導を行う場合もある。

<表彰>

- (1) 表彰は全チームを対象とし、賞状を授与する。

<その他>

- ① 雨天時の対応について
- ・ 前日夕方18:00 又は 当日朝5:00に専門委員長より出場校と関係各位に連絡する。
 - ・ 大会は予備日の9月22日(日)又は9月23日(月)に行う。予備日が両日とも雨天等で実施不可の場合は、北信中体連本部と専門部が協議の上、日時・会場を決定し実施する。
- ② 申し込みについて
- ・ 所定の参加申込書等で、次のように行う。中学校チームが外部コーチを登録する場合は、所定の用紙を提出する。プログラム原稿も同時に提出すること。

提出先 専門委員長 黒田 芳人(篠ノ井西中学校)

* 提出期限 9月13日(金)

* PDFでの電子送信のみでもよい。必要な印鑑は、PDF書類に押印してあれば、その書類で可とします。紙ベースでの提出はなしで可です。

- ③ 申し込み後の選手の変更、追加及び背番号の変更は、認めない。
- ④ 選手宣誓：本年度はなし
- ⑤ 各チームの部員は、生徒役員として試合の補助をする。ただし、部員数によって不都合がある場合は、各校の理解の上、調整する。
*本大会では生徒役員はなしとする。
- ⑥ プラカード、諸旗、旗棹の準備は、開閉会式を行わないため各チームの判断でよい。
- ⑦ プログラムは、競技部で作成する。無償配布。各チームに3冊と登録選手数分を配布する。

⑧試合会場内(ホームライン内)には、応援の観戦者(保護者等)が入らないこととする。
ホームライン外での練習時は、保護者等が入ってもよい。

⑨雷対策について

試合中に雷が鳴った場合は、直ちに試合を中断し、安全な場所に避難させる。その後の競技再開等については、本部長・専門委員・救護・審判で協議して判断する。

⑩頭部打撲対応について

※ 原則、医療機関を受診する。受診後は医師の指示に従う。

- (1)頭部への外傷が見られた場面で一度プレーを止め、会場責任者・顧問(監督)・救護で選手の様子を確認し、状況の把握をする。
- (2)必ず該当選手の保護者と連絡をとり、状況説明を含め、一緒にどのような対応をとるか相談する。(原則、保護者が来場し、直接確認する。)
- (3)その内容をもとに大会責任者が競技の続行か中止の判断を行う。競技を行う場合は、顧問はじめ該当選手の動きを注視する。競技を中止する場合は受診を勧める。

⑪問い合わせ

篠ノ井西中学校 黒田 芳人(北信中体連ソフトボール競技 専門委員長)
<連絡先>勤務先 電話 026-292-0244
FAX 026-292-7880

< 応援・観戦等に関する注意事項 >

本年度、県内の各大会、北信越大会以上の上位大会で、選手・チームスタッフ・観戦者を含めて、長野県チームの姿が、気になることがありました。全チームが該当します。

各大会において、試合に関わらず、長野県のチームの姿に、大会本部が眉をひそめる、または疑問視する時もありました。

再度、各チームでマナーとモラルを確認し、会場に来場する全員が心地よい大会になるように、ご協力願います。

以下、毎回の連絡ですが、再掲します ↓

学校教育活動の一環である「中学生の大会」であることを前提に、中学生を含め、応援者 及び 観戦者の方々には、以下のことについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

(1)ベンチや応援席からの審判や相手チームに対する暴言は厳重に慎む。試合進行に影響のある応援、不必要な指示と大会本部が判断した場合は、改善指導を行う場合がある。マナー面においても同様の対応をする。

(2)ベンチと応援席の区別について

本大会の競技場は、ベンチと応援席を明確にするため、以下のとおり対応する。

- ①応援席は1塁・3塁の各ベースより外野側とする。
- ②ベンチの後ろ及びベンチからバックネット側の位置に応援者が入り込まないものとする。(準備、片付け時も含む。)
- ③試合中の撮影については、バックネット裏からの撮影(画像・動画等)は禁止する。また、撮影された個人を特定できる画像や動画を許可なくインターネット上に投稿することは法律で禁止されているので行わない。

(3)鳴り物を使用した応援は禁止とする。

(4)その他、中体連本部からの連絡事項を遵守する。

上記(1)～(4)を守れない場合は、観戦席での観戦・応援をご遠慮して頂くこともある。

